

# TR新約聖書と非TR新約聖書の根本的な違い

クリスチャンの日々の『**霊的食物**』である『**聖書**』に、『**不純物**』は混入していませんでしょうか？

私たちが毎日食べる『**体のための食物**』を選ぶ際、**体の健康**に留意する消費者であるなら、その食物が、いつ、どこで作られたものか（国産か、それとも外国産か）、どういう**生産者**によるものか、どういう流通ルートを通して店頭には並べられているものか、体に**有害な物質**は含まれていないか、などを調べて購入する必要があります。

同様に、クリスチャンも、自分が毎日食べる『**霊的食物**』に注意しなければなりません。

『**霊の健康**』に留意するクリスチャンであるなら、そもそも、その『**霊的食物**』は、いつ、どこで、どういう『**生産者**』によって作られ、どういう経過をたどって今日に及んでいるのか、『**霊**』に**有害な『添加物・不純物**』は含まれていないか、などを調べて食する必要があります。

神はご自分の子どもたちに、「**ごまかしのない乳を慕い求めなさい。それによって成長するためです**」（第一ペテロ2・2）と教えておられます。

神は、ご自分の子どもたちが**霊的に成長する**ように、「**有害な『添加物・不純物』が全くない、ごまかしのない、混ざり物のない**」みことばを備えてくださいました。

その真の『**霊的食物**』である**みことば**が何であるかを、このページではっきりと見極めることができるはずですよ。

以下の八つに区分されて説明されています。順次お読みください。

- [【1】 TR新約聖書](#) [【2】 非TR新約聖書](#) [【3】 原本](#) [【4】 原著者](#)  
[【5】 関与者](#) [【6】 中身](#) [【7】 三事実](#) [【8】 まとめ](#)

## 【1】



## ■TR新約聖書ができるまでの4段階

『TR新約聖書』と『非TR新約聖書』は、**根本的に違います！**

『TR新約聖書』は、以下の四つの段階を経て今日に及んでいます。

- 【1】 手書きの原文 (紀元50年～95年頃)
- 【2】 5000を超える写本群
- 【3】 聖書本文 TR
- 【4】 **TRから生まれた聖書**

### 【1】 手書きの原文 (紀元50年～95年頃)

マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ、パウロ、ヤコブ、ペテロ、ユダらがギリシャ語で手書きしたものが、新約聖書の最初の原文でした。

手書きの新約聖書原本は紀元50年～95年頃に書かれたと推測されます。

### 【2】 5000を超える写本群

新約聖書の各書物の原文を、多くの**聖徒たち**がパピルス紙などに書き写し、写本（巻物や断片など）が作られました。

さらに写本を書き写した写本も、さらにその写本も数多く作られ、聖書は世界各地に伝えられていきました。

古代のギリシャ語写本は、総計で**5000**を越えています。

そのうちの**99%**が**TR**と合致しています。

《 ギリシャ語の写本 》

(総数 5262)



[世界最古の新約聖書写本](#) (マグダレン写本) は紀元66年のものであり、これも**TR**と合致しています。

古ラテン語聖書 (150年頃)、古シリア語聖書 (150年頃)、聖句集 (400年頃～) 等も**TR**と合致しています。

全写本の**99%**が**TR**と合致

[世界最古の写本](#) (紀元66年 **TR**と合致)

古ラテン語聖書 (150年頃 **TR**と合致)

古シリア語聖書 (150年頃 **TR**と合致)

ワルドー派の聖書 (**TR**と合致)

聖句集 (400年頃～ **100%**が**TR**と合致)

### 【3】 [聖書本文 TR](#)

1516年、オランダ人[エラスムス](#)がこれらの写本を世界で初めて一冊のギリシャ語新約聖書にまとめました。

1624年、この聖書本文は、**Textus Receptus=テクストゥス・レセプトゥス** (Received Text、神から受け入れられた本文の意) と呼ばれるようになりました。

[エラスムス](#)による**TR** 1516,1522年

ステファヌスによる**TR**1550年

ベザによる**TR** 1598年

エルセビル兄弟による**TR** 1624年～

[スクリブナー博士](#)による**TR** 1881年

### 【4】 [TRから生まれた聖書](#)

この新約聖書本文**TR**から翻訳されてできたのが、宗教改革者のルターによる「ドイツ語新約聖書」、殉教者ティンダルによる「英語聖書」、イギリスの国家的取り組みによる「キング・ジェームズ版聖書」などです。

日本語訳の聖書では、  
「明治元訳 新約聖書」(TR翻訳 1880年)、「新契約聖書」(TR翻訳 1928年)、および「新約聖書」(TR日本語訳 2014年～)が該当します。

**TR**は現代に受け継がれ、すでに世界100ヶ国以上で読まれる聖書として約40の言語で刊行されており、現在も約20の言語の聖書の翻訳が推し進められています。

新約聖書本文**TR**は、99%以上の写本と合致しています。

**神**はエラスムスらを導かれ、その99%以上の写本と合致する聖書本文を**TR**として集大成させてくださったのです。

**TR**は、**神**が歴史を通じて**保持**してこられた新約聖書本文です。

## 《**TR**新約聖書の流れ》

(詳細は→[聖書の歴史B・C](#)参照)

### 【1】手書きの原文





**【2】** 5000を越える **写本群**



**【3】** 聖書本文 **TR**



**【4】** **TR**から生まれた聖書



ルターのドイツ語 **TR**聖書1522年

ティンダルの英語**TR**聖書1526年

「カバデール訳聖書」 **TR**翻訳1535年

「マシュー訳聖書」 **TR**翻訳 1537年

「大聖書」 **TR**翻訳 1539年

「ジュネーブ聖書」 **TR**翻訳 1560年

「ビショップ聖書」 **TR**翻訳 1568年

「キング・ジェームズ版聖書」

(**TR**翻訳) 1611年

諸言語版**TR**聖書 1811年～

(トリニテリアン聖書協会 **TBS**)



### 《日本語版**TR**聖書》

#### ★ 「明治元訳 新約聖書」

(**TR**翻訳 1880年、2012年復刻)

#### ★ 「新契約聖書」

(**TR**翻訳 1928年、2012年復刻)

#### ★ 「新約聖書」

(**TR**日本語訳 2014年～)

**[2]**

[ページの上へ↑](#)

## ■ **非TR新約聖書**ができるまでの**4段階**

『**TR新約聖書**』の流れとは対照的に、オリゲネスの『**改**

『**ざん**聖書』に端を発する『**非TR**新約聖書』の流れがあります。

この二つの流れは、**ルーツ**（起源）も**経過**も全く異なります。

『**非TR**新約聖書』は、以下の四つの段階を経て今日に及んでいます。

- 【1】 [オリゲネスの『改ざん聖書』](#)
- 【2】 [バチカン写本・シナイ写本](#)
- 【3】 [聖書本文RV](#)
- 【4】 [RVから生まれた『非TR新約聖書』](#)

## 【1】 [オリゲネスの『改ざん聖書』](#)

『**非TR**新約聖書』のルーツは、エジプト生まれの**ギリシャ**哲学者**オリゲネス**（185年頃～254年頃）の『**改ざん**聖書』です。

彼は広範囲に旅をし、どこでも**ギリシャ語**の**新約聖書**を見つけると、それを**自分の教理**にぴったり合うように**改ざん**しました。（詳細は後述）

オリゲネスには、一人の裕福な後援者（アンブロシウス）がいました。アンブロシウスは、七百人以上の速記者と、大ぜいの写字生、および、字の達筆な若い女性たちを用意し、オリゲネスが**聖書を組織的に改ざん**するのを援助しました（エウセビウス『教会史』）。

オリゲネスは**新プラトン主義**の創始者から教えを受け、こう信じました。

- 【イエスは一人の**被造物**にすぎない】
- 【**前世からの生まれ変わり**】
- 【**洗礼による生まれ変わり**（人は水のバプテスマによって**救われる**）】

- 【人は罪のない者となるために、煉獄に行かなければならない】 ...

つまり、オリゲネスは、ギリシャ哲学の影響を受け、聖書をそのまま受け入れず、自分の教理に合うように改ざんした『異端者』でした。

オリゲネスが作成した『聖書』には、【異端エビオン主義】 【異端グノーシス主義】などの要素も、【外典】も含まれています。

彼の『改ざん聖書』は、『異端の教え』と『改ざん聖書本文』から成る『異端聖書』です。

## 【2】バチカン写本・シナイ写本

オリゲネスの『改ざん聖書』を受け継いだのがエウセビウスでした。エウセビウスは、「オリゲネスこそ最も偉大な人物」と考えていました。オリゲネスの孫弟子がエウセビウスでした。

エウセビウスは、異端のアリウス派であり、アリウスの友人でもありました。

(アリウスは、こう信じました。

- 【イエスは肉において来られた神ではない】
- 【イエスは一人の被造物にすぎない】 )

紀元331年、ローマ皇帝コンスタンティヌスがエウセビウスに指示して50冊の聖書を作らせました。コンスタンティヌスは、自分の妻子をも殺した、【太陽崇拝の祭司・異教の魔法の信奉者】でした。

エウセビウスは、オリゲネスの『改ざん聖書』から50冊の聖書を作りました。その50冊のギリシャ語聖書のうちの二つの現存写本（聖書）が、『バチカン写本』と『シナイ写本』です。



そこには、たとえばこう書かれています。

- 【魚の心臓と肝臓を焼いて生じる煙が、悪霊どもを撃退して追い出す】
- 【魚の胆のうが、盲目をいやす】
- 【施し（良い行い）が、すべての罪を清める】
- 【人はだれも、四人の処女の服を着せてもらわなければ神の国に入ることはできない】 ...

つまり、バチカン写本・シナイ写本は、『異端の教え』と『改ざん聖書本文』から成る『異端聖書』なのです。

### 【3】聖書本文RV

1881年、英国国教会の一部の人々が、英語欽定訳聖書（TR聖書）を「改訂する」という名目で、TR聖書本文を退け、代わりにこの異端の二写本（『バチカン写本』と『シナイ写本』）を中核とするRV（改ざん聖書本文）を作り出しました。

このRV編集者たちの《思想・信念》はこうでした。

- 【ユニテリアン主義】
- 【イエス・キリストの神性を否定】
- 【聖書の靈感を否定】
- 【イエス・キリストのあがないを否定】
- 【三位一体を否定】
- 【進化論を支持】 ...

彼らが【悪霊との交信】を行っていたことも後に明らかになりました。

『バチカン写本』と『シナイ写本』の『改ざん聖書本文』から作られたRVも、同じく『改ざん聖書本文』です。

ノ。

#### 【4】RVから生まれた『非TR新約聖書』

このRVを基に数々の『非TR新約聖書』が造られています。

けれども、その元をたどれば、RVを経て、『バチカン写本』と『シナイ写本』に至り、さらにその元をたどればオリゲネスの『改ざん聖書』に至ります。（図参照）

こうして、『非TR新約聖書』のルーツはオリゲネスの『改ざん聖書』なのです。

### 《非TR新約聖書の流れ》

（詳細は→[聖書の歴史D・E](#)、[現代版聖書のルーツ](#)参照）

#### 【1】[オリゲネス](#)の『改ざん聖書』

[オリゲネス](#)の『改ざん聖書』



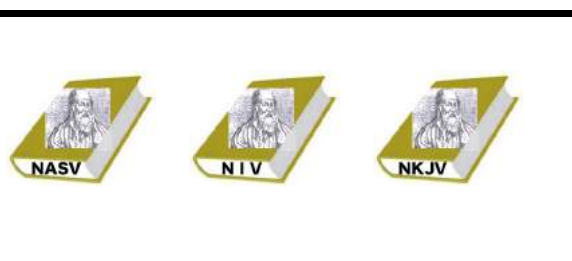
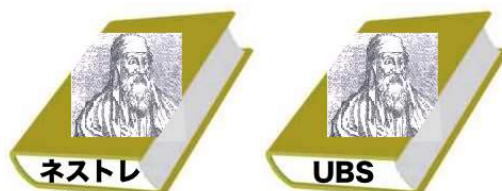
## 【2】 バチカン写本・シナイ写本



## 【3】 聖書本文RV



## 【4】 RVから生まれた非TR新約聖書





【3】

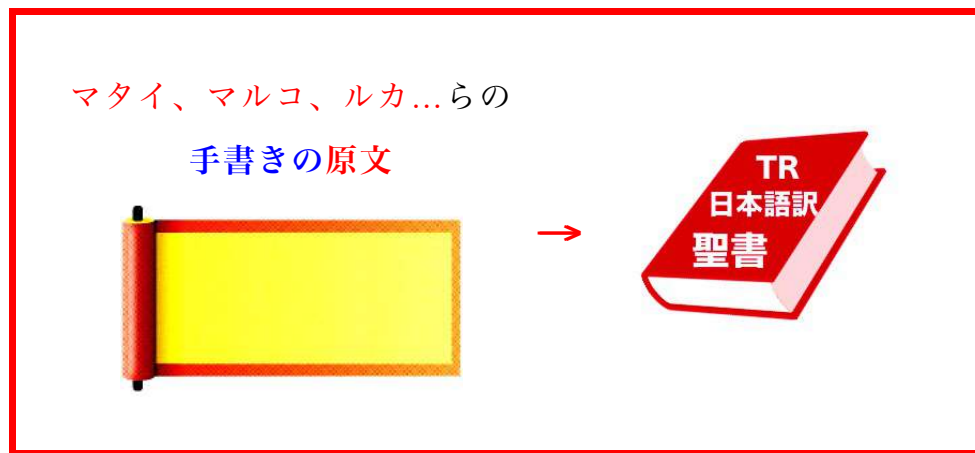
[ページの上へ↑](#)

## ■原本が根本的に違う！

### ●TR新約聖書の原本 = 手書きの原文

TR新約聖書ができるまでの4段階は、こうでした。

【1】手書きの原文 → 【2】5000を超える写本群 → 【3】聖書本文TR → 【4】TR新約聖書



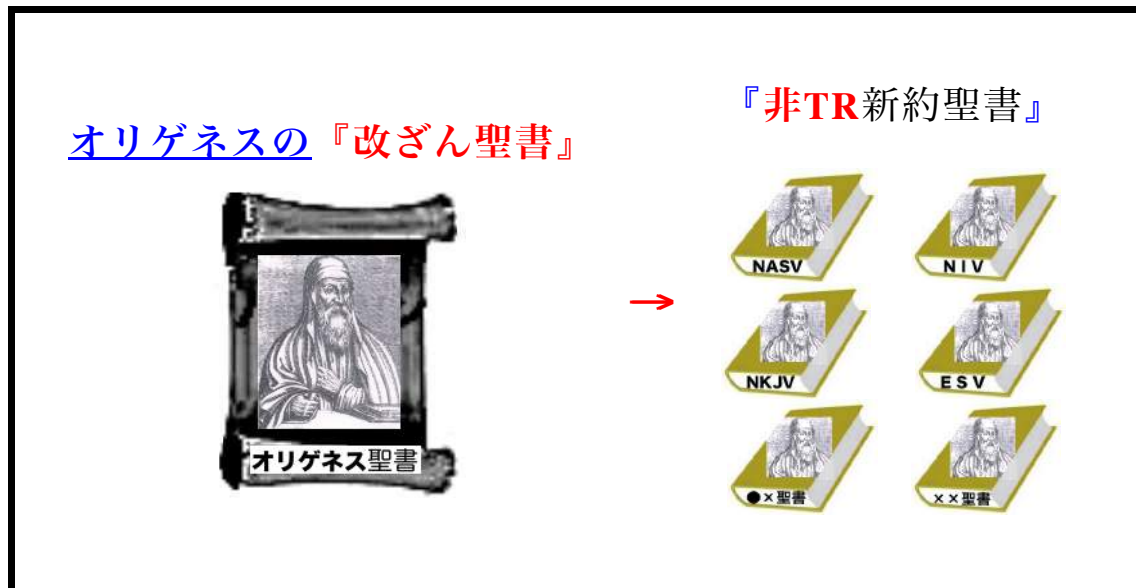
すなわち、マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ、パウロ、ヤコブ、ペテロ、ユダらが聖霊の靈感を受けて書き記した新約聖書の原文が誕生し、それを多くの聖徒たちが書き写して、総計で5000を超える写本（巻物や断片など）が作られました。それらの写本がTR聖書本文として一つにまとめられ、それが世界の諸言語に翻訳されて、『TR新約聖書』として今日に至っています。

このように、今日の『TR新約聖書』の原本は、マタイ、マルコ...らによる手書きの原文です。

## ●非TR新約聖書の**原本** = **オリゲネス**の『改ざん聖書』

『非TR新約聖書』ができるまでの**4段階**は、こうでした。

【1】オリゲネスの『改ざん聖書』 → 【2】バチカン写本・シナイ写本 → 【3】聖書本文**RV**  
→ 【4】『非TR新約聖書』



すなわち、エジプト生まれのギリシャ哲学者オリゲネスの改ざんによって造り出された『改ざん聖書』を、孫弟子に当たるエウセビウスが採用してバチカン写本・シナイ写本を造り、それを**RV**の編集者たちが用いて**RV**聖書本文として一つにまとめ、それを土台として現代の数々の『非TR新約聖書』が生まれています。

このように、今日の『非TR新約聖書』の**原本**は、**オリゲネス**の『改ざん聖書』です。

【4】

[ページの上へ↑](#)

## ■**原著者が根本的に違う！**

## ●**TR新約聖書の原著者 = 聖霊**

## 聖霊

(マタイ、マルコ、ルカ  
ヨハネ、パウロ  
ヤコブ、ペテロ、ユダ)



新約聖書の記者であるマタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ、パウロ、ヤコブ、ペテロ、ユダらは、聖霊の靈感を受けて書き記しました（第二テモテ3・16ほか）。それゆえ、『TR新約聖書』の真の原著者は聖霊です。

### ●非TR新約聖書の原著者 = 異端教祖オリゲネス



他方、『非TR新約聖書』の原著者はオリゲネスです。彼は次のような人物でした。

オリゲネス... (詳細は→[オリゲネスとは?](#))

- 彼は、「洗礼による生まれ変わり」を信じていました。(人は水のバプテスマによって救われるという信念)
- 彼は、「万人が救われることになる」と信じていました。すなわち、サタンおよび悪霊どもを含めて、すべてのものが最終的には和解されること、です。

彼は、「イエスは一人の被造物に過ぎない」と信じていました。

- 彼は、「イエスは「**ハツ世迄物にリさなヤ**」と信じていました。
- 彼は、「人は罪のない者となるために、**煉獄**(れんごく)に行かなければならない」と信じていました。
- 彼は、「**聖餐式の時、パンとぶどう酒が実際にキリストの体と血に変わる**こと(化体)」を信じていました。
- 彼は、「**前世からの生まれ変わり**」および「**カルマ**」を信じていました。すなわち、人のたましいは、この現在の地上に存在するより前に、**別の世界で先に存在**しており、その前世からの祝福あるいは呪いを持ち込んだということです。
- 彼は、「**バプテスマを受けない幼児は地獄に行く**」ことをほのめかしました。
- オリゲネスは、**イエス様の言われたことを正す**ことさえしました。  
マタイ13・38にある「種を蒔く人」のたとえの箇所、イエス様は、「畑とは、この世です」と言っておられます。  
ところが、オリゲネスは、「**畑とはイエスであった**」と言いました。その後、彼は**考えを変えて**、畑を「**聖書のことだ**」としました。
- 彼は、「**聖書は、文字通りに解釈するものではない**」と信じていました。  
(オリゲネスは、「**寓話的解釈**の父」でした)
- 彼は、実際に「**アダム**」が存在したことも、「**人間の墮落**」も**信じていません**でした。  
また、「**創世記一章～三章は、文字通りに解釈すべきものではなく、歴史的な記述でもない**」と信じていました。
- 彼は、「マタイ十九章は、『**神の人は去勢を受けるべきであり、自分自身を去勢し続けていくべきである**』と**解釈するのが正しい**」と信じていました。...

これらの内容は、もはや「**イエス・キリストの福音**」ではありません！

「彼は広範囲に旅をし、どこでも**ギリシャ語の新約聖書**を見つけると、それを**自分の教理**にぴったり合うように**改ざん**しました。オリゲネスには、一人の裕福な後援者(アンブロシウス)がいました。アンブロシウスは、七百人以上の速記者と、大ぜいの写字生、および、字の達筆な若い女性たちを用意し、オリゲネスが**聖書を組織的に改ざん**するのを援助しました」(→ [《オリゲネスとは？》](#) 参照)

その「ギリシャ語の新約聖書」とは、だれか聖徒が書き写した『写本』の神のことばであったはずで

ところが、オリゲネスはそれを「自分の教理にぴったり合うように改ざん」しました。こうして新たに造り出されたものは、もはや「キリスト教」ではなく、いわば、"オリゲネス教"と言えるものです！

すなわち、この"オリゲネス教"の「教理」は、こうなります。

- 【人は水のバプテスマによって救われる】
- 【万人が救われることになる】
- 【イエスは一人の被造物にすぎない】
- 【人は罪のない者となるために煉獄(れんごく)に行かなければならない】
- 【前世からの生まれ変わり】 .....etc.

異端教祖

オリゲネス



これらはすでに真の神のことばではありません！

オリゲネスは、この異端の教えである"オリゲネス教"の「教祖」なのです！

さらに悪いことに、彼はキリスト教とは別個の宗教 ("オリゲネス教") を立ち上げたわけではなく、『"オリゲネス教"の教典』を新たに発行することもしませんでした。

もし、それが『宗教団体オリゲネス教』という異端宗教として知られるものであり、その教典が『オリゲネス教の教典』として後生に伝えられるものであったなら、後生の「キリスト教徒たち」がそのような異端宗教に関与することはなかったことでしょう。

ところが、オリゲネスは、上記の「"オリゲネス教"の教理」に合致する改ざん『聖書』を作り出し、自らは一人の「キリスト教指導者」という名目のまま、実質的には「"オリゲネス教"教祖」となったのです！

つまり、彼は、"オリゲネス教"化された『聖書』を作り出し、"オリゲネス教"化された『キリスト教』を作り出したのです！

彼が「改ざん」を開始した瞬間、彼に関わる一切の物事は、「キリスト教」ではなく、異端宗教"オリゲネス教"となったのです。



★**オリゲネス**は**聖書**を**自分の教理**に合うように**改ざん**した**異端教祖**であった！

★彼は"**オリゲネス教**"化された『**聖書**』を作り出し、"**オリゲネス教**"化された『**キリスト教**』を作り出した！

【5】

[ページの上へ↑](#)

## ■**関与者が根本的に違う！**

### ●**TR新約聖書の関与者 = 聖書をそのまま受け入れる聖徒たち**

『**TR新約聖書**』に関わったのは、次の人々でした。

- **マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ、パウロ、ヤコブ、ペテロ、ユダ**...聖霊の靈感を受けて書き記した新約聖書記者たち
- 写本作成の多くの**聖徒たち**
- **TR**本文をまとめた敬虔な**エラスムス**や**スクリブナー博士**たち
- **TR**を翻訳して自国語聖書を作った**ルター**や**ティンダル**たち

## 聖書をそのまま受け入れる聖徒たち

マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ

パウロ、ヤコブ、ペテロ、ユダ

《**エラスムス**》 《**スクリブナー博士**》



《ルター》



《ティンダール》



## ●非TR新約聖書の関与者 = 聖書をそのまま受け入れない人々

他方、『非TR新約聖書』に関わったのは、次の人々でした。

1.オリゲネス、2.エウセビウス、3.RVの編集者たち、4.『非TR新約聖書』の編集者たち

### 聖書をそのまま受け入れない人々

1.オリゲネス 2.エウセビウス 3.RV編集者 4.非TR聖書編集者



聖書改ざん者・ギリシャ哲学者・万人救済主義者・寓話的解釈者・アリウス主義異端者・イエス・キリストの神性否定者・聖書の靈感否定者・悪霊との交信者・ユニテリアン主義者・あがない否定者・三位一体否定者・神のことば不信者・根本教理反対者・進化論者・外典支持者.....etc.

### 『非TR新約聖書』



1. オリゲネス (上記参照)

2. エウセビウス... (→[エウセビウスとは?](#))

- **アリウス主義異端者**・**アリウス**の友人
- **イエスは肉**において来られた**神ではない**と信じていた
- 「**オリゲネスこそ最も偉大な人物**」と考えた

### 3. **RVの編集者**たち... (→[RVの編集者たちとは?](#))

彼らの《思想・信念》は、こうでした。

- 【**イエス・キリストの神性を否定**する】
- 【**聖書の靈感を否定**する】
- 【**TRを敵対視**する】
- 【**悪霊との交信者**】 【**ユニテリアン派**】
- 【**イエス・キリストのあがないを否定**する】
- 【**三位一体を否定**する】
- 【**進化論を支持**する】

### 4. 『**非TR新約聖書**』の編集者たち... (→[現代版聖書の編集者たちとは?](#))

彼らの《思想・信念》は、こうでした。

- 【**聖書の逐語・無謬の靈感を否定**し、**神のことばと信じない**】
- 【**不可知論者**との共著者である】
- 【**キリスト教の根本教理に大胆に反対**する】
- 【**カトリック的統合**に向けて**エキュメニカル運動**を推進する】
- 【**聖書は神話や伝説や誇張や民話を含む**】
- 【**外典は靈感**されている】
- 【**聖書を神のことばと信じない**】
- 【**進化論ほかカトリック独自の教義**を推進】

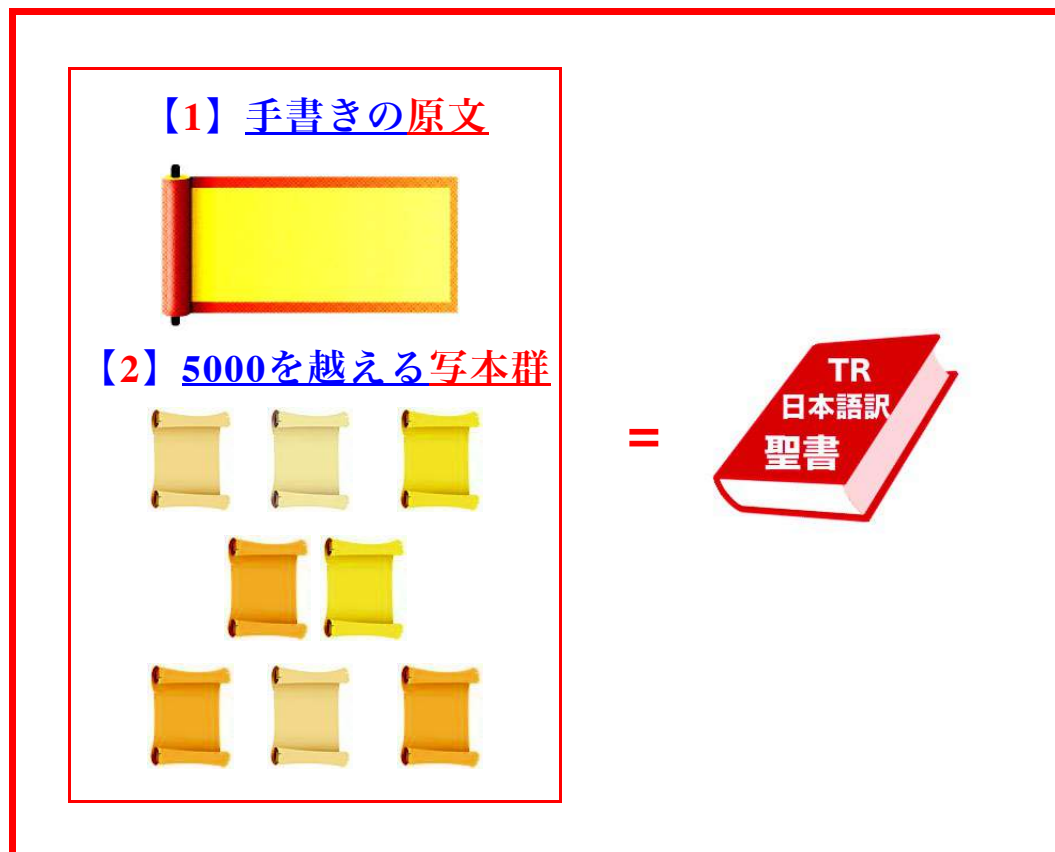
## ■中身が根本的に違う！

### ●TR新約聖書の中身 = 『神のことば』

『神のことば』は聖霊の靈感によって書かれ、そのまま伝達することを重んじる敬虔な聖徒たちによって伝えられてきました。

たとえば、世界最古の新約聖書写本（**紀元66年**）に書かれている「みことば」は、現在の**TR**（テクストゥス・レセプトゥス）の読み方と同一であることが確認されています。すなわち、その断片は、「**TR**が、**ペテロ、パウロ、使徒ヨハネ**、および私たちの主の復活のあの**500人**の目撃者（第一コリント15・4～8）たちの時代まで**古いもの**であることを裏付けている」のです。（→[世界最古の新約聖書写本](#)）

**【1】手書きの原文**（『神のことば』） = **【2】5000を超える写本群** = **【3】聖書本文TR**  
= **【4】TR新約聖書**



こうして、次の**神の約束**は歴史的にも成就されています。(→[聖書に関して神ご自身が約束しておられること](#))

「ヤーウエのことばは、純粋なことば。... ヤーウエよ、あなたは、それを守られます。  
あなたは、この世代から永遠に、それを保たれます」(詩篇12・6、7)

『**TR新約聖書**』の中身は、聖霊の靈感によって書かれた**真の神のことば**です。

## ●**非TR新約聖書の中身** = 『**オリゲネスの改ざん聖書**』の**改訂第三版**

他方、『**非TR新約聖書**』の場合は、事情が全く違います。**オリゲネス**の項にこう記されています。(→[オリゲネス](#))

「彼は広範囲に旅をし、どこでも**ギリシャ語の新約聖書**を見つけると、それを**自分の教理**にぴったり合うように**改ざん**しました。...」

その「**ギリシャ語の新約聖書**」とは、だれか聖徒が書き写した『**写本**』の**神のことば**であったはずですが。

ところが、**オリゲネス**はそれを「**改ざん**」しました！

この段階で、それはすでに**真の神のことば**ではありません！

その結果、中身に関してはこうなります。(≒は「だいたい等しい」の意)

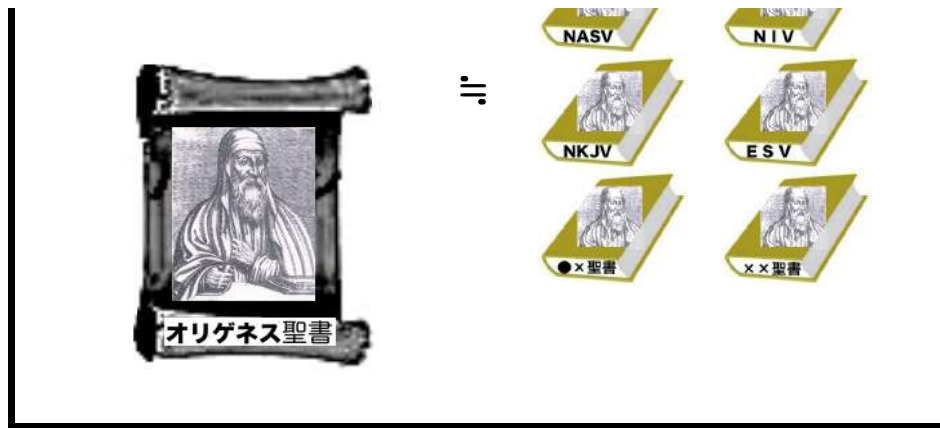
【1】オリゲネスの『**改ざん聖書**』 ≒ 【2】バチカン写本・シナイ写本 ≒ 【3】**RV聖書本文**  
≒ 【4】『**非TR新約聖書**』

**異端教祖**[オリゲネス](#)

の『**改ざん聖書**』

『**非TR新約聖書**』





この『**非TR**新約聖書』は、元の『**オリゲネスの改ざん聖書**』から三回の"**改訂**"が施されてきました。

エウセビウスが、**オリゲネスの『改ざん聖書』**をさらに《加工・編集》して**バチカン写本・シナイ写本**を作りました。

したがって、こうなります。

- **バチカン写本・シナイ写本**= 『**オリゲネスの改ざん聖書**』の**改訂第一版**

次に、**RV**の編集者たちが、それをさらに《加工・編集》して**RV聖書本文**を作りました。  
したがって、こうなります。

- **RV聖書本文**= 『**オリゲネスの改ざん聖書**』の**改訂第二版**

次に、『**非TR**新約聖書』の編集者たちが、それをさらに《加工・編集》して『**非TR**新約聖書』を作りました。

したがって、こうなります。

『**非TR**新約聖書』 = 『**オリゲネスの改ざん聖書**』の**改訂第三版**

## 【事実1】 『非TR新約聖書』には、多くの改ざん・削除・付加がある

★『非TR新約聖書』の中に、**オリゲネス**の**哲学**や**異端思想**、**削除**、**食い違い**、**矛盾**、**改ざん**等が見られるのは、それらの元となっているバチカン写本・シナイ写本にこれらのものが含まれているからです。

これらの写本を検証した人々が出した結論は、「福音書だけでも、バチカン写本には合計**7578語**の**改ざん**がなされており、シナイ写本では**改ざん**の合計が、**9000**近くにもなる」というものでした。（詳細は→[D-11](#)参照）

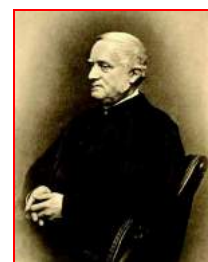
《[ジョン・W・バーゴン](#)》



★検証した[ジョン・W・バーゴン](#)師は、この2写本は「**偽造された読み方**、古代の**とんでもない間違い**、および、**真理を意図的にゆがめたもの**などが**大量にある倉庫**」であると宣言しました。

★同じく検証した[F.H.A.スクリブナー](#)博士は、シナイ写本は「**改ざんだらけ**」であると述べました。

《[スクリブナー](#)博士》



★[フロイド・N・ジョーンズ](#)博士は、ネストレのギリシャ語本文を、ギリシャ語の聖書本文**TR**と比べると、『非TR新約聖書』に**36191箇所**もの**相違**があると述べています。

## 【事実2】 『非TR新約聖書』には、異端者たちおよび編集者たちの思想・哲学・主義・信念が染み込んでいる

★『**非TR**新約聖書』には、数々の**思想・哲学・主義・信念**が染み込んでいます。

F・N・ジョーンズ博士は、以下の事例を紹介しています。（**全29の事例**は→[E-6検証1](#)）

《[F.N.ジョーンズ博士](#)》

- [マタイ19・17](#) **オリゲネスの信念**（至高善）への**改ざん**事例
- [マルコ1・2、3](#) **オリゲネスのグノーシス的信念**への**改ざん**事例
- [ルカ2・14](#) **オリゲネスの信念**（ギリシャ哲学）への**改ざん**事例
- [ヨハネ1・18](#) **アリウス派の異端の教え**への**改ざん**事例



### 【**事実3**】 『**非TR**新約聖書』には、**明らかな偽り・間違い・明白な矛盾等**がある

★『**非TR**新約聖書』には、**改ざん・編集**による**明らかな偽り・間違い・明白な矛盾等**も含まれています。

W・N・ピッカリング博士は、**削除**により**食い違いが生じている事例**、**自己矛盾**している事例、**改ざん**により**明白な矛盾を生み出している事例**、**意味をなさない事例**などを紹介しています。（**全12の事例**は→[E-6検証2](#)）

- **科学的にあり得ない本文事例**...ルカ23・45
- **キリストを「偽り者」としている本文事例**...ヨハネ7・8
- **明らかな偽りが述べられている本文事例**...第一コリント5・1

（上記の3事例→[明らかな偽り・間違い・明白な矛盾](#)...『**非TR**新約聖書』の**3事例**）

【8】

[ページの上へ↑](#)

## ■ **まとめ**

『**TR**新約聖書』ができるまでの**4段階**は、こうでした。



【1】手書きの原文 → 【2】5000を超える写本群 → 【3】聖書本文TR → 【4】『TR新約聖書』

他方、『非TR新約聖書』ができるまでの4段階は、こうでした。

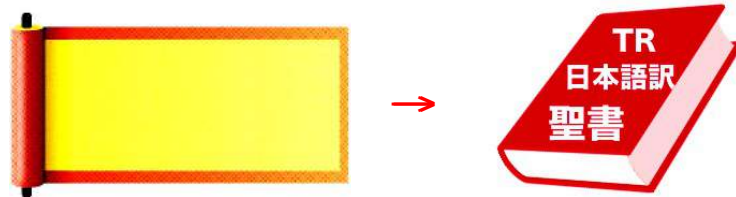
【1】オリゲネスの『改ざん聖書』 → 【2】バチカン写本・シナイ写本 → 【3】聖書本文RV  
→ 【4】『非TR新約聖書』

『TR新約聖書』と『非TR新約聖書』には、おもに四つの点で根本的な違いがあります。

『TR新約聖書』については、こうです。

### 1. 原本:

●TR新約聖書の原本 = 手書きの原文



### 2. 原著者:

●TR新約聖書の原著者 = 聖霊

**聖霊**  
(マタイ、マルコ、ルカ  
ヨハネ、パウロ  
ヤコブ、ペテロ、ユダ)



### 3. 関与者:

● **TR新約聖書の関与者** = 聖書をそのまま受け入れる聖徒たち

マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ、  
パウロ、ヤコブ、ペテロ、ユダ

エラスムス スクリプナー



ルター

ティンダル



4. 中身:

● **TR新約聖書の中身** = 『神のことば』

【1】 手書きの原文



【2】 5000を越える写本群



他方、『**非TR**新約聖書』については、こうです。

### 1. 原本:

- **非TR**新約聖書の**原本** = **オリゲネス**の『**改ざん**聖書』



『**非TR**新約聖書』



### 2. 原著者:

- **非TR**新約聖書の**原著者** = **異端教祖オリゲネス**

異端教祖 オリゲネス



『**非TR**新約聖書』



3. 関与者:

● **非TR新約聖書の関与者** = 聖書をそのまま受け入れない人々

- 1.オリゲネス 2.エウセビウス 3.**RV**編集者 4.**非TR**聖書編集者



聖書改ざん者・ギリシャ哲学者・万人救済主義者・寓話的解釈者・アリウス主義異端者・イエス・キリストの神性否定者・聖書の靈感否定者・悪霊との交信者・ユニテリアン主義者・あがない否定者・三位一体否定者・神のことば不信者・根本教理反対者・進化論者・外典支持者.....etc.

『**非TR**新約聖書』



4. 中身:

● **非TR新約聖書の中身** = 『オリゲネスの改ざん聖書』の改訂第三版

異端教祖オリゲネスの『改ざん聖書』



=

『**非TR**新約聖書』



すべてをまとめると、こうなります。

- 『TR新約聖書』 は、こういう『聖書』です。

- 原本 = **マタイ、マルコ、ルカ...たちの手書きの原文**
- 原著者 = **聖霊**
- 関与者 = **聖書をそのまま受け入れる聖徒たち**
- 中身 = 『**神のことば**』



- 『非TR新約聖書』 は、こういう文書です。

- 原本 = **オリゲネスの『改ざん聖書』**
- 原著者 = **異端教祖オリゲネス**
  - **オリゲネスは聖書を自分の教理に合うように改ざんした異端教祖であった！**
  - **彼は"オリゲネス教"化された『聖書』、"オリゲネス教"化された『キリスト教』を作り出した！**
- 関与者 = **聖書をそのまま受け入れない人々**
- 中身 = 『**オリゲネスの改ざん聖書**』の**改訂第三版**

- 『**非TR新約聖書**』の**三つの事実**
  - **【事実1】** 多くの**改ざん・削除・付加**がある
  - **【事実2】** **異端者たち**および**編集者たち**の**思想・哲学・主義・信念**が染み込んでいる
  - **【事実3】** **明らかな偽り・間違い・明白な矛盾**等がある

■ 神は、ご自分の子どもたちが、「**ごまかしのない乳を慕い求め...それによって成長する**」（第一ペテロ2・2）ことを望んでおられます。

神は、クリスチャンたちが、「**有害な『添加物・不純物』が全くない、ごまかしのない、混ざり物のない**」みことばによって**靈的に成長する**ことを望んでおられます。

## **TRが歴史を通じて保持されてきた神のことばです！**

■ 「**TR**は、数々の古代版聖書や「教父」たちの証言のほか、現存するギリシャ語本文のうちの**99パーセント以上と合致しています**」

(フィリップ・マウロ師)

■ 「『神はご自分のことばを保持される』という神の約束への信仰によって、私たちは、ギリシャ語の**TR**こそ、**神が導かれた本文**であるとわかるのです。神は摂理により、この本文を見守ってこられたのです」 **【→[詳細](#)】**

(フロイド・N・ジョーンズ博士)

■ 「ギリシャ語の聖書本文**TR**、これこそが、**伝統的本文**であり、ギリシャ正教により何世紀にもわたって読まれ、保持されてきた本文です。この**伝統的本文は、全能者によって保持されてきたのです**」 **【→[詳細](#)】**

(ウィルバー・N・ピッカリング博士)

[聖書の歴史](#) [目次](#) [E-1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [11](#) [12](#) [13](#)■ [現代版聖書のルーツ](#) [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#)[ページの上へ↑](#)

- 『[TR新約聖書](#)』 [新契約聖書](#) [明治元訳新約聖書](#) [新約聖書ラインナップ](#) [聖書シリーズの本](#) [聖書の歴史概観表](#) [聖書のホームページ](#) 《[UBS版聖書本文とは?](#)》 《[聖書協会UBSとは?](#)》 《[ネストレ-ア-ラント版聖書本文とは?](#)》 《[ネストレ版/UBS版聖書に関わった人々](#)》 《[オリゲネスとは?](#)》 《[エウセビウスとは?](#)》 [キリスト教界で知られていない事実](#) [聖書本文の比較と検証](#) [さらに深く学ぶためのリンク集](#) [二つの聖書本文の流れ\(PDF\)](#) [聖書の歴史E2～E5\(PDF\)](#) [現代版聖書のルーツ E 8～E12\(PDF\)](#) 『[現代版聖書のルーツ](#)』 (小冊子) 『[聖書の歴史](#)』 (書籍)

[カタログ一覧](#) [エターナル・ライフ・ミニストリーズ](#)[選択カテゴリにジャンプ!](#)